

令和 6 年度 第 8 回札幌市入札・契約等審議委員会の審議概要

1 開催日時

令和 7 年 1 月 17 日（金） 14：00 開会

2 開催場所

札幌市役所本庁舎 14 階 入札室

3 出席者

(1) 委員

中川委員長、西村委員、橋本委員、山上委員

(2) 札幌市職員

税務・契約管理担当局長、財政局管財部長、財政局工事管理室長、財政局契約管理課長、財政局工事契約担当課長、財政局技術管理課長、交通局総務課長、水道局総務課長、病院局経営企画課長、他 9 名

4 次第

(1) 開会

(2) 報告事項

工事等発注状況について（令和 6 年度 10 月末）

(3) 審議事項

抽出工事等の決定・審議

(4) その他

市況連動型失格判断基準の試行終了について

(5) 閉会

5 審議概要

(1) 報告事項（工事等発注状況について）

【委員】件数は減少している一方で、契約金額は増加しているのは工事の単価が上昇しているということか。

【札幌市】お見込みのとおり。件数は減少しているが、交通局の WTO 適用案件等金額が大きい工事が多かったため、契約金額が上昇している。

【委員】地質調査業務のくじ引き発生割合が100%なのは、業務内容と関係があるのか。

【札幌市】地質調査業務については、積算において労務的な部分が大半を占めているため、最低制限価格の算出が比較的容易であり、入札参加業者も多いことから、くじ引きが発生しやすくなっている。

(2) 審議事項（抽出工事等の決定・審議）

【委員】1件目の工事について、道路融雪設備工とは何か。

【札幌市】ロードヒーティングの敷設である。歩道バリアフリー工事の際に、機能している設備を一度取り除いた後、再度敷設したうえで舗装する必要がある。基本的には原状復帰と同じ考え方である。

【委員】1件目、3件目について、同規模の工事であれば、入札参加者数は同程度なのか。

【札幌市】発注時期で入札参加者数が異なることはある。4月から6月頃は、仕事が決まっていない業者が多いため、入札参加者が増加する傾向にある。反対に、7、8月頃であれば既に仕事が決まっている業者が多く、配置可能な技術者がいない等の理由で入札参加者が少なくなることが多い。

【委員】3件目について、予定価格の算出難易度がそれほど高くないにも関わらず、1者を除いて予定価格を超過した理由は何か。

【札幌市】考えられる理由としては2つ。1つは、一般的に入札の結果は後日公開されるが、入札に参加すると開札日に入札参加者や落札金額等の情報を得ることができること。もう1つは、再入札を実施してもなお予定価格超過となった場合は、随意契約に移行する場合があるため、随意契約を意識した入札を行ったことである。

【委員】入札結果情報を早く得るメリットはあるのか。

【札幌市】競争相手の手持ち工事状況を早く知ることができるため、年度開始直後の時期は特に重要な情報だと考えている。

【委員】1件目と3件目について、工事の特性上人気がない点は予定価格の積算に考慮されないのか。

- 【札幌市】人気のない工事は、経費の不確定要素が多いものと思われる。
- 交通規制において設計上の配置人員よりも増員しなければならない場合等は、基本的には設計変更を行うが、基準があるため全てに対応することはできない。
- 【委員】今回の抽出工事3件をみたところ、くじ自体が悪い訳ではなく、くじによって工事がどのように配分されるかが業者の不満の原因ではないかと思われる。札幌市はくじ引きに対してどのように考えているのか。
- 【札幌市】くじ引きは公平な手段と定められていることから、不適切な手段とは考えていない。一方で、業界団体からは、くじ引きは運任せであり、入札に対するモチベーションが低下することから、くじ引き対策を要望する声が挙がっている。
- これに対して、何かしらの対策を行っていく必要があるのではないかと考えているところ。1つの対策として、総合評価落札方式の拡大を考えている。また、市況連動型については一旦整理する予定だが、市況連動型に代わるより良い手法がないか、引き続き検討していきたいと考えている。
- 【委員】入札後に、企業成績を反映し、くじを引ける人を絞るなど、くじ引きに参加できる業者を限定するような要件を加えることはできないのか。
- 【札幌市】入札参加資格として、3年間の工事成績平均点が一定以上の業者であることを条件とすることはあるが、くじ引きを行うときに限定するということはない。
- 【委員】総合評価落札方式の事務手続は面倒なのか。
- 【札幌市】提出書類が増えるため、入札価格のみで決定する方法と比較すると、業者の負担は大きくなる。また、過去に実施した業者へのアンケートでは、総合評価に肯定的な業者は少なかった。
- 【委員】総合評価に肯定的な業者は少ないが、くじ引きは対策してほしいといった声が挙がっているということか。
- 【札幌市】事務体制が十分に整っていない中小企業は総合評価よりもくじ

引きが良いという意見が多く、一方で、技術力の高い大企業は総合評価の拡大を望んでおり、企業の大きさによって意見が異なる部分はある。総合評価がくじ引きの発生割合を押し下げていることは事実であるため、総合評価を少しずつ拡大していきたいと考えているが、総合評価は業者の負担が大きい中で、A 2 等級やB 等級は中小企業が多いことから、A 2 等級やB 等級へ一気に拡大してしまうと、ハレーションが起きてしまう可能性があると考えている。

(3) その他（市況連動型失格判断基準の試行終了について）

【委員】アンケートでは反対票の方が多かったのか。

【札幌市】賛成が約 3 割で、残りの約 7 割は否定的な意見であった。また、市況連動型と市況連動型ではない案件のどちらに参加したいか聞いたところ、約 8 割が市況連動型ではない案件と回答していた。